

苦小牧市立澄川小学校

家庭学習の手引き (保護者用)

はじめに

澄川小学校では、子どもたちの学力向上に取り組んでいます。より成果をあげるためには、学校での学習に加え、家庭での学習の習慣化が大切です。小学校の学習は将来子どもたちが社会人として自立するために大切なものです。保護者の皆様には、ご理解とご協力をお願いします。



家庭学習の目的は

1. 学習の習慣化

学年が進むにつれて高度になる学習内容を確実に身に付けるためには、低学年のうちから毎日家庭でも机に向かう習慣を身に付けることが大切です。

2. 学習したことの定着・習熟

「計算」や「漢字」「音読」などを確実に身に付けるためには、繰り返し練習することが大切です。また「もっと速く正確にできるようになりたい」という習熟の意識や「もっと調べてみたい」といった意欲も家庭学習での取り組みでより育つことが期待できます。

3. 自分で学ぼうとする意欲の育成

自分で学んだことをきっかけに、「できた」「たのしかった」という思いを子どもたちはもちます。家庭学習に取り組むことで、そういう「学ぶ喜び」がより積み重なり次への意欲につながります。

ご家庭ではこのようなかかわりを

1. 規則正しい生活をおくる

- ・決まった時刻に寝て、決まった時刻に起きる。
- ・毎朝、朝ご飯を食べる。
- ・テレビやゲームの時間を決め、約束を守らせる。



2. 学ぶ環境を整える

- ・学習は、テレビや音楽を消して静かに集中できるところで行う。
- ・時間を決めて行う。
- ・学校で使う道具、持ち物の準備、点検の習慣を身に付ける。

3. たくさん対話をする

- ・学校での出来事を聞き、子どもが学校でがんばっていることや、困っていることを理解する。
- ・新聞記事やニュースなどを話題にして、社会への関心を広げる。
- ・自分の夢を探したり、それを実現したりするための方法をアドバイスする。

4. 努力を認め、励ます

- ・「よくできたね」「ていねいに書けたね」「最後までがんばったね」など、子どものがんばりを認める言葉がけを行う。
- ・ものごとをやり遂げるという成功体験を積みせることで、子どもに意欲と自信を持たせる。

※各学年の学習の手引きを配付しています。あわせてご覧になり家庭での学習にお役立てください。